ネパール校舎6棟27教室まで贈呈完了。新たに2棟建設へ。

プロジェクトの背景

2009年度より、事業方針として掲げていたカンボジア以外の支援国の検討を開始し調査を進めたところ、ネパールの公立学校の教育環境がカンボジアと同等に劣悪であることが分かった。2010年度の調査により支援対象地域と候補校を具体的に絞り込み、当会がカンボジアで培った建設ノウハウを設設計画に反映させながら慎重に準備を進め、現地のガナジューム・メモリアル財団と連携を図りながら2011年12月に2棟を着工し、2013年1月に初めての増築工事を行った。

支援概況

2011年に始まったネパール支援は、2014年までにネパールの東南端、ジャパ県に2施設校舎2棟合計16教室、平屋建て2教室2棟合計4教室、3教室1棟、4教室1棟、合計67教室を建設しました。

このうち2014年には校舎の建て替えが必要なゴダマラ学校に1棟3教室、サラソワティー学校に1棟2教室、ラクスミー学校2階に4教室が完成し、贈呈式が行われました。

サラソワティー学校の増務式では村の中を着飾った生徒の踊り子と楽隊を先頭に行列して学校へ向かい（写真C）、式典の合間に必ず踊りが入るという学校を上げての華やかな式典でした。

2013年に4教室を建設したラクスミー学校は学校運営が成功し、従来の10年制（小学校5年、中学校3年、高校2年）から他国に合わせた12年制（高校にプラス2年）へ移行することになり、ドナーのご協力とよき2階2教室を増設することができました。（写真A、D）またネパールでは森林保護が徹底しており木村の入手が容易ではありませんが今回完成した3棟とも地元の希望で青空のような明るいブルーの壁の校舎です。

2015年は円安のため建設費が50%も上がり事業の維持が危ぶまれましたが、ジャパ郡の南端、インド国境の近くのデブコテ村のラクスミー・ブラサド・デブコテ学校に1棟4教室を建設することが決まり11月完成を目指して工事が進めています。（写真E）さらに2014年に建設したサラソワティー学校は別の国道沿いのサラソワティー学校にも4教室建設を検討中です。また訪問の教室で勤学に励んでいるネパールの子供たちの教育環境を少しでも改善するため今後の1教室でも多く校舎を建設して行きたいと願っています。皆様のご協力切にお願いいたします。